

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	531-01-01		
事務事業名		軽トラ市開催事業		事務の種類		自治事務（任意のもの）	
				連絡先		内線2730	
担当部署名		生活環境部 観光課		予算科目	会計	1 一般会計	
総合基本計画	施策目標		5		魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	款	7 商工費
	施策		3		観光振興・都市間交流	項	1 商工費
	施策の方向		1		地域資源の活用と観光資源の創出	目	3 観光費
対象（誰を・何を）		市民及び市外の消費者					
目的（どうしたいか）		消費者、生産者、商工業者が一体となって参画・交流を深め、地域の賑わいを図る。					
手段（事業内容）		駒ヶ谷駅西側公園を中心に、新鮮な野菜や果物、自慢の品物を軽トラックの荷台などに載せて生産者等が対面販売を行う事業を定期的に開催する。					

事業費

単位：千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	5,338	2,286	2,754
人件費	4,535	4,819	1,274
総事業費	9,873	7,105	4,028
うち市負担分	9,873	7,105	4,028

元年度決算主な内訳	
【事業費】	
報償費	120千円
需用費	673千円
役務費	58千円
委託料	1,302千円
使用料及び賃借料	133千円
【特定財源】	

活動指標

指標名	事業実施回数	単位	回
指標の説明	年間の軽トラ市イベントの開催数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	9	9	8

成果指標

指標名	来場者数	単位	人
指標の説明	年間の軽トラ市イベントへの来場者数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	15,900	19,600	20,000

参考数値

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

☐ 拡充・重点化	☐ 現状維持	☒ 改善して継続	☐ 縮小・統合	☐ 完了	☐ 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容					
市内各地において軽トラ市を開催することで、市域全域における地域特産物の消費拡大とPRに努めるとともに、地域の賑わいの創出を継続して図っていく。また、出店者や来場者の声などを聞き、事業に意見を反映していくことに努める。					

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	531-01-02		
事務事業名		七夕祭開催事業		事務の種類		自治事務（任意のもの）	
				連絡先		内線2760	
担当部署名		生活環境部 観光課		予算科目	会計	1 一般会計	
総合基本計画	施策目標		5		魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	款	7 商工費
	施策		3		観光振興・都市間交流	項	1 商工費
	施策の方向		1		地域資源の活用と観光資源の創出	目	3 観光費
対象（誰を・何を）		全ての羽曳野市民及び市外の消費者					
目的（どうしたいか）		竹内街道沿道の活性化や魅力向上を図る。					
手段（事業内容）		古市駅東広場周辺において、地域特産品等を販売するブースやステージイベントを実施する。					

事業費

単位：千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	356	1,015	1,101
人件費	1,436	4,819	600
総事業費	1,792	5,834	1,701
うち市負担分	1,792	5,834	1,701

元年度決算主な内訳	
【事業費】	
報償費	45千円
需用費	189千円
役務費	7千円
委託料	748千円
使用料及び賃借料	26千円
【特定財源】	

活動指標

指標名	事業実施回数	単位	回
指標の説明	事業実施回数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	0	1	1

成果指標

指標名	来場者数	単位	人
指標の説明	イベントへの来場者数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	0	3,000	3,500

参考数値	
事業実施回数	
H30 中止	
R1 1回	
来場者数	
H30 中止	
R1 3,000人	

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

☐ 拡充・重点化	☐ 現状維持	☒ 改善して継続	☐ 縮小・統合	☐ 完了	☐ 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容					
地域特産物のPRに努めるとともに、地域の賑わいの創出を図り、竹内街道沿道の活性化や魅力向上を継続して図っていく。					

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	531-01-03			
事務事業名		はびきののタベ開催事業		事務の種類		自治事務（任意のもの）		
				連絡先		内線3513		
担当部署名		市長公室 政策推進課		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標		5		魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	款	2	総務費
	施策		3		観光振興・都市間交流	項	1	総務管理費
	施策の方向		1		地域資源の活用と観光資源の創出	目	5	企画費
対象（誰を・何を）		市民及び市外の消費者						
目的（どうしたいか）		日本最古の官道「竹内街道」の風情あるたたずまいを保全・活用・継承していくため、広域的PR及び地活性化と魅力向上を図る。						
手段（事業内容）		駒ヶ谷駅西側公園及びその周辺において、竹内街道の自治体にある食文化等を通じて広くPRを行い、街道沿線自治体の代表的な特産品（食文化）や地域加工品や商品、ご当地グルメの出店及びステージイベントを実施する。						

事業費

単位：千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	2,250	2,925	2,682
人件費	3,023	2,884	1,424
総事業費	5,273	5,809	4,106
うち市負担分	5,273	5,809	4,106

元年度決算主な内訳	
【事業費】	
行政協力者謝礼	90千円
印刷製本費	186千円
広告料	205千円
警備委託料	137千円
会場設営委託料	978千円
出店企画等委託料	920千円
石川河川公園使用料	192千円
【特定財源】	

活動指標

指標名	事業実施回数	単位	回
指標の説明	事業実施回数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	1	1	1

成果指標

指標名	来場者数	単位	人
指標の説明	イベントへの来場者数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	3,000	5,500	6,000

参考数値

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	見直しを検討する余地がある。	

総合評価

☒ 拡充・重点化	☒ 現状維持	☐ 改善して継続	☐ 縮小・統合	☐ 完了	☐ 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容					
本事業に関しては、多様な要素を含んだ事業であり、年度ごとに事業企画内容に修正・変更を行いながら、目的としている広域PR等を行っている。今後も個別評価の項目も考慮しながら、事業を継続していくことで、中長期にわたって事業効果が発現するよう取り組みを進める。					

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード		531-02-01			
事務事業名				華やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会事務事業		事務の種類		自治事務（任意のもの）	
						連絡先		内線2760	
担当部署名				生活環境部 観光課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標			5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち		款	7	商工費
	施策			3	観光振興・都市間交流		項	1	商工費
	施策の方向			1	地域資源の活用と観光資源の創出		目	3	観光費
対象（誰を・何を）				南河内の9市町村の市民及び観光客					
目的（どうしたいか）				南河内を中心とする大阪の観光魅力のPRを行うとともに、観光客の受け入れ体制の充実と観光客の誘致を促進する。					
手段（事業内容）				松原市、千早赤阪村を除く、南河内の7市町、大阪府、公益財団法人大阪観光局、近畿日本鉄道株式会社、南海電気鉄道株式会社が協力して、「観光PRキャラバン（年5回）」「みなみかわち歴史ウォーク（年3回）」「HPの更新」など、観光宣伝及び観光客誘致に関する事業を順次実施する。					

事業費

単位：千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	300	300	300
人件費	1,436	759	1,874
総事業費	1,736	1,059	2,174
うち市負担分	1,736	1,059	2,174

元年度決算主な内訳
【事業費】 南河内観光キャンペーン協議会負担金 300千円
【特定財源】

活動指標

指標名	イベント実施回数	単位	回
指標の説明	「観光PRキャラバン」及び「みなみかわち歴史ウォーク」		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	3	2	3

参考数値

成果指標

指標名	イベント参加者数	単位	人
指標の説明	イベント等への参加者数（来客）数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	2,147	5,932	6,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

☒ 拡充・重点化	☐ 現状維持	☒ 改善して継続	☐ 縮小・統合	☐ 完了	☐ 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容					
「観光PRキャラバン」「みなみかわち歴史ウォーク」を通じて、大阪府内はもとより、広く関西、そして大阪にこられているアジアなどからの観光客の皆さんにも情報発信を行い、南河内の魅力を知ってもらいたい。加えて、南河内の広域観光ルートの検討やインバウンド対応など、さらに創意工夫を重ね、南河内に多くの方に足を運んでいただけるよう取り組んでいく。					

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	532-01-01		
事務事業名		道の駅しらとりの郷・羽曳野管理事務事業		事務の種類		自治事務（任意のもの）	
				連絡先		内線2730	
担当部署名		生活環境部 道の駅しらとりの郷・羽曳野		予算科目	会計	1 一般会計	
総合基本計画	施策目標		5		魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	款	7 商工費
	施策		3		観光振興・都市間交流	項	1 商工費
	施策の方向		2		観光振興を推進する仕組みづくり	目	4 健康ふれあいの郷管理費
対象（誰を・何を）		施設					
目的（どうしたいか）		安全で快適に施設を利用できるように保つ。					
手段（事業内容）		環境整備（ごみ拾い、草刈、樹木管理、交通誘導、施設修繕等）、アジサイ・サクラ・園路のライトアップ、誘導員による駐車場整備、周辺道路の渋滞緩和につながる交通誘導対策（警備員の配置）					

事業費

単位：千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	34,187	26,820	25,962
人件費	17,928	18,076	24,806
総事業費	52,115	44,896	50,768
うち市負担分	36,463	28,756	34,628

元年度決算主な内訳
【事業費】 26,820千円 消耗品費、水道・下水道使用料、電気料金、除草手数料、樹木管理手数料、ライトアップ業務他 【特定財源】 電柱等使用料 29千円 駐車場使用料 2,314千円 市有財産貸付収入 11,430千円 周辺道路警備負担金 1,987千円 しらとりの広場使用料 380千円

活動指標

指標名	施設面積	単位	m ²
指標の説明	管理している面積		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	41,585	41,585	41,585

参考数値
2年度予算歳入（当初）16,365千円 電柱等使用料 29千円 駐車場使用料 2,274千円 市有財産貸付収入 11,430千円 周辺道路警備負担金 2,292千円 しらとりの広場使用料 340千円

成果指標

指標名	過失事故件数	単位	件
指標の説明	施設内での事故発生件数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	0	0	0

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

☒ 拡充・重点化 ☒ 現状維持 ☒ 改善して継続 ☒ 縮小・統合 ☒ 完了 ☒ 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 来場者が、安全で快適に過ごせるよう環境維持に努めるとともに、老朽化していく施設を補修及びリニューアルし、魅力ある「道の駅」を継続していく。 道の駅の管理運営体制については、指定管理者制度を含め幅広く検討する。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	532-01-02			
事務事業名		道の駅しらとりの郷・羽曳野運営事務事業		事務の種類		自治事務（任意のもの）		
				連絡先		内線2730		
担当部署名		生活環境部 道の駅しらとりの郷・羽曳野		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標		5		魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	款	7	商工費
	施策		3		観光振興・都市間交流	項	1	商工費
	施策の方向		2		観光振興を推進する仕組みづくり	目	4	健康ふれあいの郷管理費
対象（誰を・何を）		来場者						
目的（どうしたいか）		羽曳野市の魅力を感じる施設づくりを目指すとともに、快適に利用できる施設整備を進める。						
手段（事業内容）		・ アジサイやサクラに特化した名所づくりを通して来場者増加を狙う ・ B B Q 広場運営 ・ Wi-Fiの利用（BBQ広場周辺） ・ 電気自動車急速充電器利用対象者の拡大 ・ 広告事業						

事業費

単位：千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	457	472	414
人件費	3,168	3,096	4,160
総事業費	3,625	3,568	4,574
うち市負担分	662	1,530	2,597

元年度決算主な内訳
【事業費】 電気自動車急速充電器電気料金 472千円
【特定財源】 BBQ広場利用料 688千円 急速充電器利用料 507千円 広告設置使用料843千円

活動指標

指標名	施設開場日	単位	日
指標の説明	年間の開場日数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	312	313	314

参考数値
2年度予算歳入(当初) 1,977千円 BBQ広場利用料 624千円 急速充電器利用料 510千円 広告設置使用料 843千円
2年度の電気自動車急速充電器電気料金は、元年7月～2年6月分の実績額の合計。

成果指標

指標名	来場者数	単位	人
指標の説明	B B Q 広場利用者及び、各店舗のレジ通過者の合計		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	838,940	833,555	833,555

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

☒ 拡充・重点化	☒ 現状維持	☐ 改善して継続	☐ 縮小・統合	☐ 完了	☐ 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容					
羽曳野市の重要な観光拠点として、機能の充実を図り、J A 大阪南や羽曳野市商工会とともに連携を強化しより多くの来訪に努め、「道の駅」の魅力をPRしながら観光・産業の発展に寄与する。 道の駅の管理運営体制については、指定管理者制度を含め幅広く検討する。					

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	532-01-03		
事務事業名		観光案内所管理事務事業		事務の種類		自治事務（任意のもの）	
				連絡先		内線2760	
担当部署名		生活環境部 観光課		予算科目	会計	1 一般会計	
総合基本計画	施策目標		5		魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	款	7 商工費
	施策		3		観光振興・都市間交流	項	1 商工費
	施策の方向		2		観光振興を推進する仕組みづくり	目	3 観光費
対象（誰を・何を）		市来訪者					
目的（どうしたいか）		観光・周遊しやすくしていく。					
手段（事業内容）		羽曳野市の公共交通機関の玄関口である近鉄南大阪線古市駅の東広場に、平成24年6月観光案内所を開設。観光に関する各種パンフレットの配布や多言語対応のデジタルサイネージなどにより、市の観光施設や特産品などの情報提供を行う。また、各種情報を提供することにより市のさまざまな魅力をPRし、周遊ルート案内などを行う。					

事業費

単位：千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	3,800	3,288	3,700
人件費	3,748	3,968	4,153
総事業費	7,548	7,256	7,853
うち市負担分	7,457	7,256	7,853

元年度決算主な内訳	
【事業費】	
運営要員派遣委託料	3,288千円
【特定財源】	

活動指標

指標名	開所日数	単位	日
指標の説明	1年間に観光案内所を開所した日数（休所日：毎週木曜日及び12月29日～1月3日）		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	231	309	307

成果指標

指標名	来所者数	単位	人
指標の説明	1年間に観光案内所を来所した人数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	3,934	6,018	6,500

参考数値

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

☒ 拡充・重点化	☐ 現状維持	☒ 改善して継続	☐ 縮小・統合	☐ 完了	☐ 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容					
平成29年4月に竹内街道が日本遺産、令和元年7月に百舌鳥・古市古墳群が世界遺産となり、今後羽曳野市への来訪者が増加することが見込まれる。観光の発信拠点として、羽曳野市を訪れた人が市の魅力を感じ、また来たい、人に紹介したいと思われるような情報を提供できるよう、増加するインバウンドへの対応も含め、対応を強化していく必要があると思われる。					

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	532-01-05		
事務事業名		観光農園等管理事務事業		事務の種類		自治事務（任意のもの）	
				連絡先		内線2730	
担当部署名		生活環境部 観光課		予算科目	会計	1 一般会計	
総合基本計画	施策目標		5		魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	款	7 商工費
	施策		3		観光振興・都市間交流	項	1 商工費
	施策の方向		2		観光振興を推進する仕組みづくり	目	3 観光費
対象（誰を・何を）		来訪者					
目的（どうしたいか）		羽曳野市において栽培可能と思われる果樹を植え付け、産業振興に寄与する種類や品種を選定し、観光資源の発掘や地域の活性化等につながる事業を展開する。					
手段（事業内容）		かんきつ類、モモ、ナシ、カキなど多種異品種を栽培管理。樹木の成長に伴い収穫できた果実の1部について、市立の幼稚園や保育園の園児に収穫体験を実施。					

事業費

単位：千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	12,814	12,813	13,088
人件費	1,890	4,362	4,167
総事業費	14,704	17,175	17,255
うち市負担分	14,704	17,175	17,255

元年度決算主な内訳
【事業費】 果樹栽培指導料 20千円 消耗品費 131千円 管理運営業務委託費 12,236千円 土壌検査手数料 143千円 原材料費 199千円
【特定財源】

活動指標

指標名	栽培本数	単位	本
指標の説明	果樹栽培規模		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	109	119	119

成果指標

指標名	事業推進率	単位	%
指標の説明	栽培果樹の生育見込み達成度		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	100	100	100

参考数値
栽培果樹内訳 ミカン類 (44) クリ (3) モモ (7) イチジク (6) スモモ (3) ビワ (2) ナシ (28) ザクロ (2) カキ (4) サクランボ (11) ブドウ (9)

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

☐ 拡充・重点化	☒ 現状維持	☐ 改善して継続	☐ 縮小・統合	☐ 完了	☐ 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 果樹は順調に生育している。今後、観光資源としての活用が期待されるとともに、駒ヶ谷駅西側公園や育苗施設と合わせて施設運営にかかる企画や立案が必要。 また、上ノ太子農園など果樹育成に適さない土地の整理を進める。					

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	532-01-06		
事務事業名		育苗施設管理事務事業		事務の種類		自治事務（任意のもの）	
				連絡先		内線2730	
担当部署名		生活環境部 観光課		予算科目	会計	1 一般会計	
総合基本計画	施策目標		5		魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	款	7 商工費
	施策		3		観光振興・都市間交流	項	1 商工費
	施策の方向		2		観光振興を推進する仕組みづくり	目	3 観光費
対象（誰を・何を）		市民					
目的（どうしたいか）		事業着手されていない公共用地の活用推進事業において、暫定的にビニールハウスを設置し花苗等の栽培を行ない緑化推進を図る。また、駒ヶ谷駅西側公園や観光農園と合わせて一体的な観光振興にかかる施設として活用する。					
手段（事業内容）		駒ヶ谷駅西側公園や道の駅等を修景する花苗の生産・育成。ビニールハウス内にて数種類のブドウを育成し、観光農園事業として取り組む。					

事業費

単位：千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	874	495	739
人件費	1,512	2,390	2,091
総事業費	2,386	2,885	2,830
うち市負担分	2,386	2,885	2,830

元年度決算主な内訳
【事業費】
消耗品費 159千円 電気料金 78千円 原材料費 238千円 等
【特定財源】

活動指標

指標名	配布実施回数	単位	回
指標の説明	公共施設やイベントで配布した回数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	4	4	0

参考数値
配布実績・・・公共施設(2回) イベント配布(グリーンフェスタ) 生産実績・・・マリコールト(15,000) ホオズキ(100)ペンジー(9,500)

成果指標

指標名	生産量	単位	ポット
指標の説明	花苗等の栽培ポット数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	18,900	24,500	6,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きくない。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献度が低い。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

☒ 拡充・重点化	☐ 現状維持	☒ 改善して継続	☐ 縮小・統合	☐ 完了	☐ 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容					
駒ヶ谷駅西側公園や観光農園と一体的に整備された育苗施設において、公共施設へ提供する花苗や、イベント等にて配布する苗物を生産。令和2年度より大ハウスにて数種類のブドウを育て、観光農園と同様に観光資源の活用につなげられるよう管理。花苗の栽培スペースが減少したことで、観光課所管施設以外の公共施設やイベントへの配布苗の生産は困難。観光促進施設として今後の活用策を継続して検討。					

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	532-01-07		
事務事業名		駒ヶ谷駅西側公園管理事務事業		事務の種類		自治事務（任意のもの）	
				連絡先		内線2730	
担当部署名		生活環境部 観光課		予算科目	会計	1 一般会計	
総合基本計画	施策目標		5		魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	款	8 土木費
	施策		3		観光振興・都市間交流	項	4 都市計画費
	施策の方向		2		観光振興を推進する仕組みづくり	目	3 公園費
対象（誰を・何を）		来園者					
目的（どうしたいか）		駒ヶ谷地区の活性化に寄与する拠点としての施設・機能の充実とともに、地域情報の発信基地としての役割構築および、地域のにぎわいを創出する公園づくりを目指す。					
手段（事業内容）		子ども遊具(つぶたん遊具等)やシェルター(日除け)、ベンチ、顔出しパネル等の公園施設および駐車場の維持管理。軽トラ市や収穫祭、はびきののタペなどイベント会場として活用。					

事業費

単位：千円		30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費		2,644	2,348	3,067
人件費		1,134	1,290	1,274
総事業費		3,778	3,638	4,341
うち市負担分		2,814	2,456	3,477

元年度決算主な内訳	
【事業費】	
消耗品費 65千円	
電気料金 365千円	
駐車場機器保守および管理運営業務 1505千円	
修繕費 170千円	
その他水道料金、機械警備費等	
【特定財源】	
駐車場使用料 1182千円	

活動指標

指標名	開園日	単位	%
指標の説明	適切な管理運営達成度		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	100	100	100

成果指標

指標名	事業進捗率	単位	日
指標の説明	利用者が利用できる日数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	365	366	365

参考数値
元年度駐車場利用台数
無料台数 2665台
有料台数 4597台
合計 7262台
2年度予算歳入(当初) 864千円

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

☒ 拡充・重点化	☒ 現状維持	☐ 改善して継続	☐ 縮小・統合	☐ 完了	☐ 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容					
イベントのできる公園としてにぎわいと安らぎのある快適な公園を目指し、観光振興の一助となる公園づくりに努める。また、隣接する観光農園や大阪府石川河川公園との連携による駒ヶ谷駅西側公園の新たな活用方法を検討する。					

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード		532-02-01				
事務事業名		観光協会運営事務事業		事務の種類		自治事務（任意のもの）		
				連絡先		内線2760		
担当部署名		生活環境部 観光課		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標		5		魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	款	7	商工費
	施策		3		観光振興・都市間交流	項	1	商工費
	施策の方向		2		観光振興を推進する仕組みづくり	目	3	観光費
対象（誰を・何を）		全ての羽曳野市民及び観光客						
目的（どうしたいか）		羽曳野市の観光事業の振興をはかると共に羽曳野市の地域経済の振興及び文化の発展に寄与する。						
手段（事業内容）		観光協会ホームページの運用農特産物及び友好都市特産物販売・振興事業はびきの「軽トラ市」事業への協力。事務局として関与。協会事業、運営を行う。						

事業費

単位：千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	0	0	0
人件費	13,604	6,109	10,104
総事業費	13,604	6,109	10,104
うち市負担分	13,604	6,109	10,104

元年度決算主な内訳
【事業費】 補助金額なし
【特定財源】

活動指標

指標名	ホームページアクセス数	単位	件
指標の説明	観光協会ホームページの運用		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	60,930	59,849	65,000

成果指標

指標名	会員数	単位	人
指標の説明	観光協会登録会員数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	108	117	120

参考数値
ホームページアクセス数 H30 60,930件 R1 59,849件
会員数 H30 108 R1 117

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

☐ 拡充・重点化	☐ 現状維持	☒ 改善して継続	☐ 縮小・統合	☐ 完了	☐ 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容					
地域特産物や地域文化を活用し、わが町「羽曳野」の魅力を多くの方に発信し、市民の方には本市の良いところを再確認・再発見していただけるよう、また、市外の方には「訪れたくなる」「また来たくなる」羽曳野市となるよう、行政及び各種団体と共にPR活動など連携し行い事業に取り組んでいく。 現在取り組まれている羽曳野版DMO「（仮称）はびきの観光・移住創造かんぱにー」の設立の際には、観光協会との関わりについて検討の余地がある。					

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

			コード	532-02-02	
事務事業名		ガーデン倶楽部運営事務事業		事務の種類	
				自治事務（任意のもの）	
担当部署名		生活環境部 観光課		連絡先	
				内線2730	
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	会計	1 一般会計
	施策	3	観光振興・都市間交流	款	7 商工費
	施策の方向	2	観光振興を推進する仕組みづくり	項	1 商工費
				目	3 観光費
対象（誰を・何を）		市民			
目的（どうしたいか）		駒ヶ谷駅西側公園及び関連施設が、地域のふれあい交流拠点として、より魅力を持ち地域の親しまれる空間となるよう、住民ボランティアにより植物の育成、管理や環境美化に取り組み、住民の観光意識を高めるとともに人的交流を推進する。			
手段（事業内容）		公募により参加者を募り、有償にて活動。駒ヶ谷駅西側公園・観光農園・育苗施設・駒ヶ谷駅駐車場・古市花ふれあい交流広場及び道の駅しらとりの郷羽曳野において、播種作業（種まき）や育成、花壇植付け、除草及び灌水作業等の景観づくりを行う。			

事業費

単位：千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	573	573	640
人件費	1,134	1,214	1,199
総事業費	1,707	1,787	1,839
うち市負担分	1,707	1,787	1,839

元年度決算主な内訳
【事業費】
行政協力者謝礼 485千円
消耗品費 12千円
原材料費 76千円
【特定財源】

活動指標

指標名	会員数	単位	人
指標の説明	ガーデン倶楽部に関心を持って応募した市民		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	70	68	72

参考数値
成果指標2年度目標は、年間活動予定日／1回実施した参加状況より算出。
2年度の活動予定日は、新型コロナウイルス感染予防対策のため、実施時期を遅らせたことにより減った。
2年度事業費(当初予算)
行政協力者謝礼 522千円, 消耗品費68千円, 原材料費 50千円

成果指標

指標名	活動日数	単位	日／人
指標の説明	実施できた日数および平均参加人数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	19日／40人	19日／41人	13日／37人

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

☒ 拡充・重点化	☐ 現状維持	☒ 改善して継続	☐ 縮小・統合	☐ 完了	☐ 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容					
園芸作業に慣れている会員が多く当事業への関心も高い。活動日を増やすことにより管理費の削減につながるが、現在有償ボランティアとして参加してもらっているの、予算額により活動日数が決まる(制限される)。会員間では無償にて活動日を増やしてほしいとの声もある。また、無償にすることにより、支出を抑制できるだけでなく事務の軽減につながる。					

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	532-02-03		
事務事業名		観光ボランティアガイド育成事務事業		事務の種類		自治事務（任意のもの）	
				連絡先		内線2760	
担当部署名		生活環境部 観光課		予算科目	会計	1 一般会計	
総合基本計画	施策目標		5		魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	款	7 商工費
	施策		3		観光振興・都市間交流	項	1 商工費
	施策の方向		2		観光振興を推進する仕組みづくり	目	3 観光費
対象（誰を・何を）		市民等（市外居住者を含む）					
目的（どうしたいか）		羽曳野市の歴史と文化に関心を持ち、観光客などへの観光ガイドを主とするボランティア活動への意欲を有し、観光ボランティアガイド活動に積極的に参加する市民等（市外居住者を含む）の養成をする。					
手段（事業内容）		ガイドになるための座学や現地学習の体験を通して、羽曳野市の歴史や文化に理解と愛着を深めてもらい、羽曳野市の魅力をたくさんの方に伝えていただく。（ガイド養成講座等の開催）					

事業費

単位：千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	0	297	300
人件費	983	3,036	2,758
総事業費	983	3,333	3,058
うち市負担分	983	3,333	3,058

元年度決算主な内訳
【事業費】 観光ボランティアガイド育成業務委託料 297千円
【特定財源】

活動指標

指標名	養成講座等	単位	回
指標の説明	養成講座等実施回数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	0	3	5

成果指標

指標名	観光ボランティアガイド養成人数	単位	人
指標の説明	観光ボランティアガイド登録人数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	21	23	25

参考数値

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

☒ 拡充・重点化	☐ 現状維持	☒ 改善して継続	☐ 縮小・統合	☐ 完了	☐ 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容					
観光ボランティアのガイド活動が地域の活性化や交流に果たす役割の重要性はますます高まってきており、また百舌鳥・古市古墳群が世界遺産登録となり、今後來訪者が増加するなかで本市の魅力をより知っていただくために、観光ボランティアガイドスタッフの養成が必要となってくる。市の魅力の発信に関わってもらえる観光ボランティアの掘り起こし、ガイドを養成するための基礎データの収集と組織づくりに取り組んでいく。 また、藤井寺市観光ボランティアの会と連携を行い、周辺地域一体の魅力を双方で発信する仕組みにも取り組んでいく。					

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	533-01-01			
事務事業名		都市間交流事業		事務の種類		自治事務（任意のもの）		
				連絡先		内線1081		
担当部署名		市民人権部 市民協働ふれあい課		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標		5		魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	款	2	総務費
	施策		3		観光振興・都市間交流	項	1	総務管理費
	施策の方向		3		都市間交流の充実	目	16	市民協働費
対象（誰を・何を）		三市（三重県亀山市・奈良県御所市・大阪府羽曳野市）の市民						
目的（どうしたいか）		三市で市民交流を図る。						
手段（事業内容）		日本書紀の日本武尊・白鳥伝説を縁として、三重県亀山市・奈良県御所市・本市の三市持ち回りで、2年に一度、様々な分野で市民交流を実施する他、広報のやり取りを行う。						

事業費

単位：千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	375	0	275
人件費	983	911	1,199
総事業費	1,358	911	1,474
うち市負担分	1,358	911	1,474

元年度決算主な内訳
【事業費】
【特定財源】

活動指標

指標名	三市交流事業実施回数	単位	回
指標の説明	2年に一度、交流事業を実施		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	1	0	1

参考数値
令和2年度は亀山市にて実施予定
・参加費無料

成果指標

指標名	三市交流事業参加人数	単位	人
指標の説明	羽曳野市の市民の参加人数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	30		30

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

☐ 拡充・重点化	☐ 現状維持	☒ 改善して継続	☐ 縮小・統合	☐ 完了	☐ 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容					
御所市、亀山市と三市の間で、2年に1回都市間交流事業を実施している。令和2年度は亀山市が当番市となり事業を実施予定である。三市の市民間交流を図り、一定の評価を得ているところである。日本武尊が繋ぐ交流を今後も継続し、世界文化遺産登録がされた今こそ、今まで以上に羽曳野市の文化・魅力を他市の方々にも知っていただく機会となると考える。市民主体の事業としての検討の余地や受益者負担等の導入も検討し、継続的な事業としていくことが必要であると思われる。					

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	533-01-02		
事務事業名		国際交流事業		事務の種類		自治事務（任意のもの）	
				連絡先		内線1081	
担当部署名		市民人権部 市民協働ふれあい課		予算科目	会計	1 一般会計	
総合基本計画	施策目標		5		魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	款	2 総務費
	施策		3		観光振興・都市間交流	項	1 総務管理費
	施策の方向		3		都市間交流の充実	目	16 市民協働費
対象（誰を・何を）		市民					
目的（どうしたいか）		友好都市交流を通じて、国外における多くの人々と交流を図る。					
手段（事業内容）		友好都市（オーストリア共和国ウィーン市13区ヒーツィング）との交流。現在の交流の取り組みは、周年記念事業の取り組みを主とし、毎年クリスマスカードや年賀状の交換による交流を行っている。 また、大韓民国忠清南道論山市とは親善交流を行っている。					

事業費

単位：千円		30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費		9	101	61
人件費		2,192	2,049	1,874
総事業費		2,201	2,150	1,935
うち市負担分		2,201	2,052	1,935

元年度決算主な内訳	
【事業費】	
・消耗品費	2千円
・郵便料	1千円
・庁用器具費	98千円
【特定財源】	
・外国人受入環境整備交付金	98千円

活動指標

指標名	友好交流都市等へ年賀状の送付枚数	単位	枚
指標の説明	友好交流都市等へ年賀状の送付枚数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	17	18	20

成果指標

指標名	友好交流都市等との交流数	単位	回
指標の説明	友好交流都市等との交流数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	17	18	20

参考数値

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

☐ 拡充・重点化	☐ 現状維持	☒ 改善して継続	☐ 縮小・統合	☐ 完了	☐ 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容					
友好交流都市協定提携の締結以来、人的交流が積み重ねられてきており、周年事業を通じて、ヒーツィングとの良好な関係を構築している。観光交流ということも踏まえて、関係課とも連携し取り組んでいく。					